

平成20年度
やよい会 水環境保全研究会

「知っていますか？いのちの水を汚染する化学物質」と題して、東京農工大学・高田秀重教授から、合成洗剤による水環境汚染を中心にお話しを伺いました。



下水処理場の汚泥には合成洗剤由来の化学物質が多く含まれること、分解可能な実験条件とは異なる自然環境中では、合成洗剤による汚染が、地下水や深海にまで及んでいることなど、様々なデータを基に、分かり易いお話でした。先生は、「私達は地球という惑星を将来の人類から借りて生きているので、返す時にはできるだけ汚さずに返すのが当たり前ではないでしょうか。環境残留性のある化学物質の使用は極力控えるべきです。」と力強く結ばれました。

(やよい会会長森田伊知子)

学ぶって何だろう
～市民人権講座～

去る2月27日(金)南河内公民館ホールにおいて、平成20年度第4回市民人権講座「映画『こんばんは』上映会&講演会」が開催されました。あいにくの雪にもかかわらず、100名近い人たちが参加されました。

参加された方々の感想を掲載させていただきます。

「学ぶこと」はもちろん大切ですが、その前に「学びたい」と思う気持ちが大切なのだとあらためて自分の胸に言い聞かせながら観ていました。人生でやり残したことは何か？を考えた時、その答えが「学校で学ぶこと」だった彼ら…。



「こんばんは」で始まる夜間中学校は、彼らに悔いなく生きることを「人とふれ合うことで生まれる優しさ」を教えてくれるところだと思えます。学力競争ではない「学び」の場所、それが夜間中学校なのだ。私たちが忘れてしまっている大切なものを思い起こさせてくれた心あたたまる映画でした。人は人との出会いによって多くのことを学び、生きていくための力をもらえるのですね(40代女性)

映画の最後に「学校とは」と流れましたが、「学校とは一番いいところですよ」とありました。子ども、そして親にとってもぜひそうあってほしいと思いがいっぱいになりました。(50代女性)

この映画について、団体グループ対象に小規模上映会(5〜30名まで無料上映)を随時開催します。

希望される方は、生涯学習課までご連絡ください。
(担当 福田)
☎52) 11119



男女共同参画 いきいきコラム

—男女がともに輝く社会の実現のために— Vol. 3

～結婚・出産～

あなたはこれまで、このように考えたこと(したこと)はありませんか。

- ・結婚したら、世帯主は夫がなるのが当然だ。
- ・女性が結婚を機に退職するのはやむを得ない。
- ・子どもは母親が育てるのが一番だ。



これからは・・・

結婚・出産を機に「こうありたい」という生活のイメージは変わってきます。結婚し、子どもを産んでからも仕事を続けたい女性、仕事に専念してきたものの育児をしたい男性など、抱く思いは様々です。夫婦で家事や育児の役割分担をして協力しながら、仕事と生活のバランスを取っていきましょう。

このコーナーでは、市で発行した啓発パンフレット「一人ひとりが幸せに暮らす社会のために」より一部抜粋し紹介しています。

問い合わせ先

総合政策室

☎40-5550